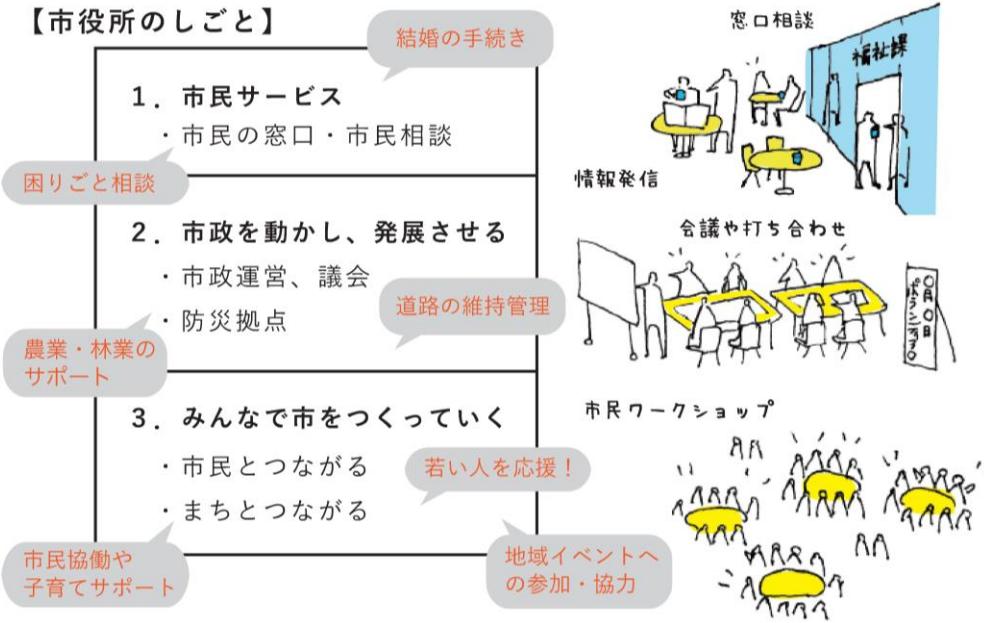


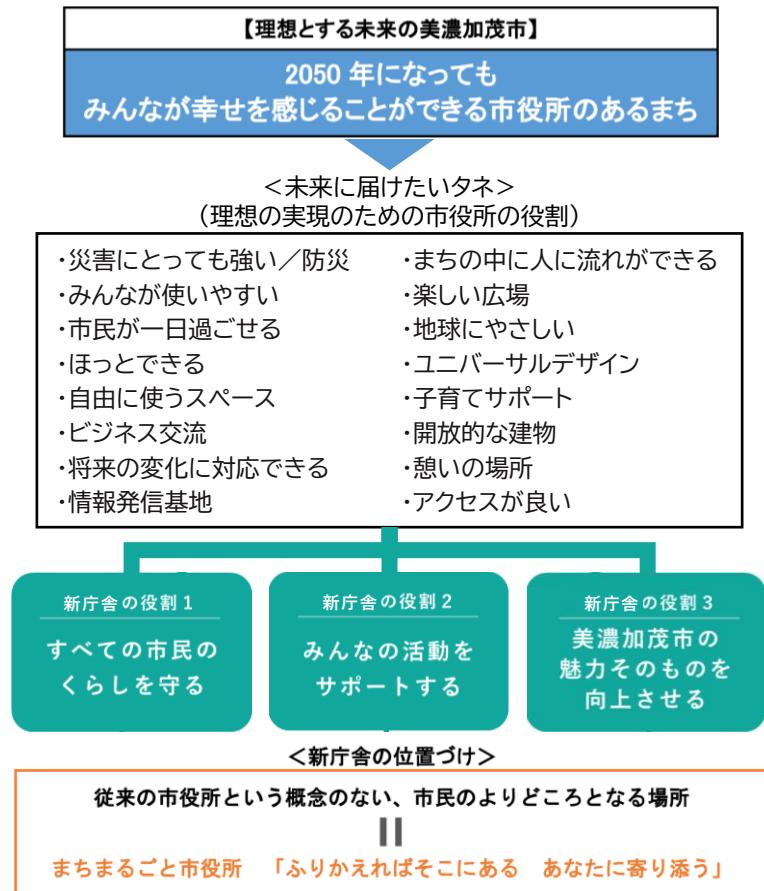
今回のテーマは「新庁舎の役割」・「新庁舎のコンセプト」です。
ここでは、市役所のいまの姿や、昨年度までに考えられてきた未来の姿を掲載しています。これらを参考に、みんなで新庁舎の姿を考えましょう！

市役所って どんどころ？

【市役所のしごと】



(旧)基本構想で考えた 新庁舎の役割



市役所って どんな人が来る？

市役所には、どんな目的で来る？

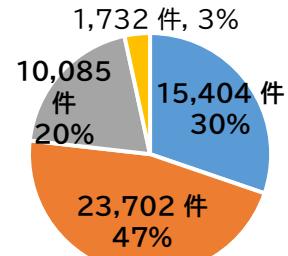
平成29年度に実施した新庁舎市民アンケートでは、来庁した方の**76.1%**が市民窓口サービスを目的としています。

■申請目的の来庁

令和4年度市民課窓口での戸籍・住民票等交付数

凡例

- : 戸籍
- : 住民票
- : 印鑑証明
- : 諸証明



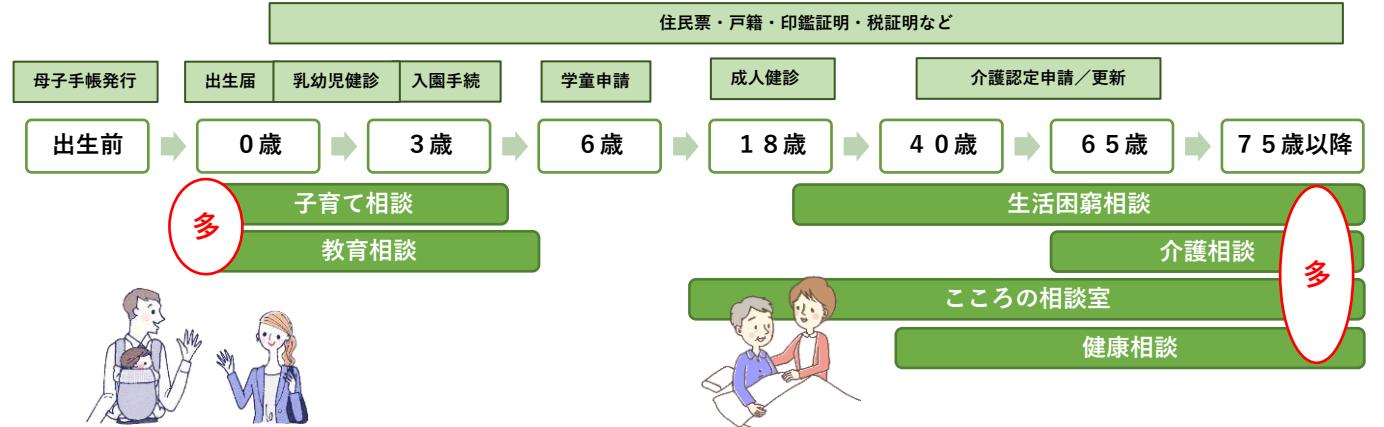
令和4年度の市民課での証明書の交付件数(自動交付機除く)のうち、97%は戸籍、住民票、印鑑証明です。

将来、証明書交付のデジタル化が進むと、自宅等から申請が可能になり、来庁の必要がなくなるかもしれません。

■相談目的の来庁

一生の間、みなさんは様々なタイミングで市役所へ来庁されます。

近年、高齢化や共働き世帯の増加に伴い、高齢福祉課や子育て支援課などの相談件数が増加傾向にあります。また、経済状況の悪化やストレスを抱える人の増加により、福祉課や健康課への相談も多くあります。

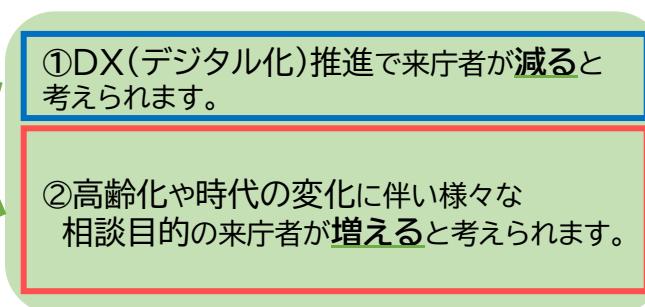


これからの市役所は何のために必要か？

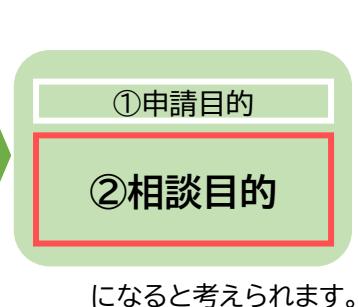
■いままで、市役所へは…



■これからは…



■そのため…



(旧)基本構想で考えた 新庁舎のコンセプト

【新しい市役所づくりの基本理念】

みんなのまあるいまちづくりひろば

- ・市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点
- ・美濃加茂市を訪れる人々が魅力を感じるまちづくりを行う拠点

【基本理念を実現するための5つの基本方針】

まちが元気になる庁舎

- ・にぎわいをうむ
- ・人が行き交い、商いが育まれる
- ・美濃加茂暮らしを楽しむ

安全で安心な庁舎

- ・災害に耐え、市民の暮らしを守る
- ・地域防災拠点として機能する

すべての人にやさしい庁舎

- ・利用しやすい
- ・働きやすい
- ・バリアフリー
- ・ユニバーサルデザイン

市民が集う開かれた庁舎

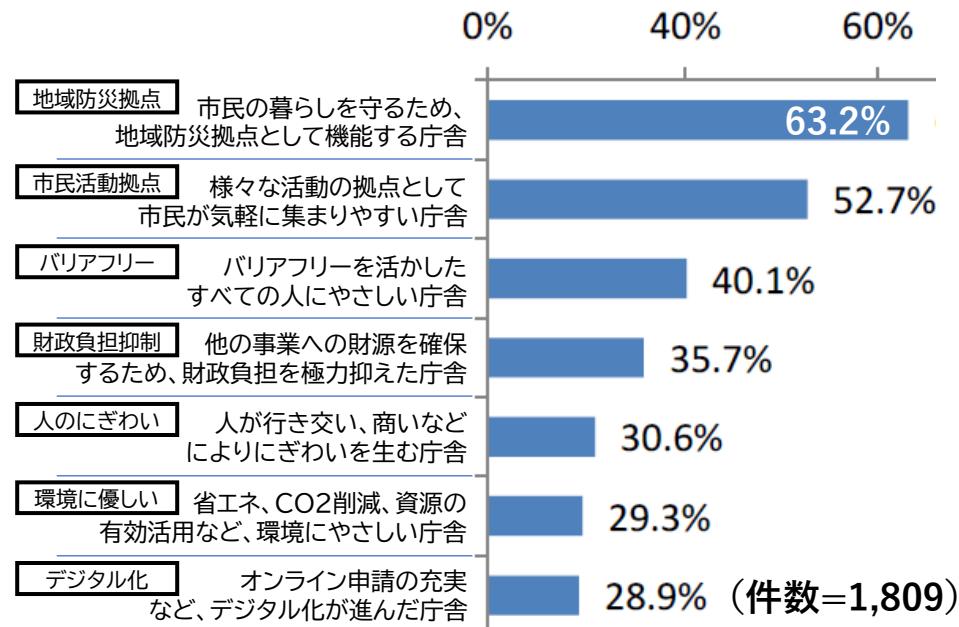
- ・市民活動ができる
- ・市民が気軽にに関わり活動できる
- ・ふらっと寄れる憩いのある空間

持続可能な庁舎

- ・環境負荷の低減
- ・自然環境を活かす
- ・社会ニーズや高度な技術への柔軟な対応

新庁舎整備において大切にすべき視点は？

<新庁舎に関する市民アンケート> 令和4年7~8月実施



新庁舎の役割・機能の関係 (例)

前回 → 今回 → 次回

市の役割 (第1回WSより)	新庁舎の役割 (例)	新庁舎の機能 (例)
・安心安全なまち	・災害時の司令塔となる	・災害対策室 (人員待機・通発信機器) ・地震に強い建物
・魅力ある市をつくる	・市民と協働する ・まちづくりを考える	・ミーティングスペース ・会議・相談室 ・市民が集まれる空間
・便利なまち	・市民サービスを提供する (申請手続き) ・情報を発信する	・集約された窓口 ・働きやすい執務空間 ・DXに対応する設備
⋮	⋮	⋮

現在の市役所本庁舎に足りないと感じる部分は？

<同左>

